

授業科目	法学				単位	2		
履修	選択	関連資格				ナンバリング	NU10411J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	木村 茂喜							
授業概要	本講では、現代の社会生活上において発生しているさまざまな事象・問題について、法がどのような役割を担い、またいかに作用しているのかを学習する。また本講では、基本法規である民法を中心に扱うが、具体的問題は民法に限らず、憲法、行政法、刑法、労働法、社会保障法等のさまざまな法領域にもまたがるので、これらの関連法領域について、さらには各法領域の相互関係についても学習する。							
学生が達成すべき行動目標	1. 社会における法の役割を理解し、説明できる。(DP1-1) 2. 日常生活で用いられるさまざまな法を理解し、その内容について説明できる。(DP1-1) 3. 法的なものの考え方を身につけて、その考え方を日常生活や対人援助に活用することができる。(DP1-1)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	100						100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
・社会における法の役割を適切に理解し、正確に説明できる。 ・日常生活で用いられるさまざまな法を正確に理解し、その内容について正確に説明できる。 ・法的なものの考え方を適切に身につけて、その考え方を日常生活や対人援助に活用することができる。				・社会における法の役割をある程度理解し、説明できる。 ・日常生活で用いられるさまざまな法をある程度理解し、その内容について説明できる。 ・法的なものの考え方を日常生活や対人援助にある程度活用することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:イントロダクション 講義の進め方、法学を学ぶ意義について説明する。	講義	復習:レジュメの見直し	15
2	テーマ:私たちと法とのかかわり 社会の中の法の役割、法体系と分類、人の一生と法とのかかわりについて解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:レジュメの見直し	30
3	テーマ:裁判と法 裁判の役割、裁判の種類、法曹と裁判員制度について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
4	テーマ:犯罪と刑罰 刑事手続、少年非行と少年法、犯罪被害者への支援について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
5	テーマ:家庭生活と法(1)婚姻・離婚 家族の定義、婚姻、離婚について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
6	テーマ:家庭生活と法(2)親子・扶養・相続 親子関係、扶養、成年後見制度、相続について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
7	テーマ:消費者と法 契約の成立要件、契約の有効要件、消費者保護法制について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
8	テーマ:被害の救済と法 発生した損害に対する責任追及の方法、損害賠償請求権の発生要件について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
9	テーマ:労働と法(1)労働契約・労働条件 労働契約と就業規則、正社員と非正規労働者、雇用機会均等、賃金、労働時間について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
10	テーマ:労働と法(2)ワークライフバランス・労働契約の終了・労働組合 ワークライフバランス、労働契約の終了、労働組合について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
11	テーマ:社会保障と法 社会保障の意義、社会保障制度の概要について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
12	テーマ:環境と法 情報と法 環境権、環境に関する法制、報道の自由とプライバシー、情報公開と個人情報の保護について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
13	テーマ:教育と法 教育を受ける権利、教育に関する法制、学問の自由について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30
14	テーマ:医療と法 医療過誤、臓器移植、安楽死と尊厳死、患者の権利について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:テキスト該当部分・レジュメの見直し	30

15	テーマ:人権の保障と政治制度 基本的人権、国民の政治参加、地方自治について解説する。	講義	予習:テキスト該当部分に目を通す 復習:これまでの講義全体の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	特になし。			
テキスト	平野武・平野鷹子『私たちと法(3訂版)』(法律文化社) そのほか、毎回の講義の際に、レジュメを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	第1回目の講義時に、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。また、講義後には各自でその日の講義内容について復習しておくこと。さらに、新聞・テレビ等で取り上げられる、本講のテーマに関する諸情報を入手しておくことが望ましい。			
達成度評価に関するコメント	試験の詳細については、講義内で説明する。			